

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

Vision（なりたい姿）

唯一無二の価値を提供する会社

売上収益
1,980億円営業利益
180億円営業利益率
9%ROE
12%

② 中長期の経営戦略

1. 成長に向けた改革

ポートフォリオマネジメント推進、民間・新規事業拡大、自動設計技術開発、海外事業収益向上、コスト構造見直し

2. マトリクス経営の展開

8つの地域における地域統括リーダーシップで地域戦略推進、事業ポートフォリオ最適化

3. 人材育成・技術開発

ID&Eグローバルアカデミー設立、タレントマネジメント、DE&I推進、生成AI等デジタル技術活用

③ 対処すべき課題

① 市場環境への対応

- ・インフレ・円安によるコスト上昇への懸念
- ・脱炭素トレンドに伴う競争激化への対応
- ・民間資本によるインフラ開発ニーズへの対応

② 事業領域拡大・効率化

- ・民間・新規事業の拡大と稼働率向上
- ・自動設計等による生産性向上
- ・グループ間の共創による事業領域拡大

③ グローバル展開強化

- ・APAC・北米展開の強化
- ・海外市場での民間事業拡大
- ・欧州事業の知見をアジア等へ展開

面で使えるポイント

- ・「世界をすみよくする」というMissionのもと、コンサルティング・都市空間・エネルギー3事業で2027年売上1,980…
- ・2024年改定の5つのマテリアリティ（分断・格差のない世界、すみよい地球環境等）に基づくグローバル経営を展開中
- ・ID&Eグローバルアカデミー設立やタレントマネジメント、DE&I推進で多様な人材が活躍できる環境構築に注力

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

暗記する数字3つ

連結売上高
1,590億円営業利益率
8.9%財務健康度
55点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 65.6（当サイト算出の参考指標）

要するに
持株会社としてグループ会社の経営管理およびそれに付帯又は関連する業務を行っています

主力事業・セグメント

- ・コンサルOperations 54.1%
- ・Urban・SpatialDev 28.2%
- ・エネルギー 17.7%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高1,590億円の事業規模
- ・営業利益率8.9%の安定した収益性
- ・将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

平均年収
1,007万円平均年齢
58.9歳平均勤続
26.5年女性管理職
0.0%男性育休
56.0%

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

